



## “自分にはよい所がある！”

この一年間、子どもたちは、数多くの地域の皆様、保護者の皆様と関わることができました。そして、いろいろなことを見て、聴いて、体験して、学びとしてきました。

関わるという点から、特に今年度は以下の3つのことを新たに展開しました。

### ① 地域のお年寄りとの『ふれあい給食』（4回実施）

- ・毎回20名を超える方々と一緒においしく給食をいただく時間を共有できました。
- ・「いただきます」の前には、陸上大会の表彰を見ていただきました。
- ・誕生日の方が2名もいて、みんなで牛乳乾杯をしました。

### ② 地域コミュニティの敬老会と学習発表会の合同開催『みつばふれあい祭り』

- ・これまでにはない400名を超える大勢の地域の皆様の前で、学習の成果を発表することができました。そして、大きな拍手と賞賛をいただき、大きな自信となりました。

### ③ 地域席を新設した『卒業式』（間もなく実施）

- ・子どもたちには地域の方々から大切にされているという実感と感謝の気持ちを、ご来賓および地域の皆様には感謝の気持ちを表現や態度で一生懸命示そうとする子どもたちの姿を見ていただきたいと思えます。

この他にも、一年生から全校で参加した市音楽祭やアカウンタビリティin見附等、校外での活動にも積極的に参加することで、その発表が認められ自信をつけてきました。

皆様からは、ご指導をいただく場、共に活動する場、参観していただく場、読み聞かせやブックトークの場、収穫祭等感謝の意を伝える場....等、多くの場で関わっていただきました。また、学校運営協議会や学校支援地域本部、みつばコミュニティといった力強い組織的な支援も多々いただきました。そのお陰で、田井小の子どもたちは確かな成長を遂げています。その中でも特に自己肯定感（『自分は大切な存在だ』『自分にはよい所がある』と思う心）の高まりが意識調査から顕著です。本当にうれしいことです。

同様に、私たち学校職員も地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご支援の下、それらを励みとしてまいりました。学習参観や学校行事では、いつも大勢の皆様からご参加いただき、子どもたちの姿を見ていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

四月からの新年度も引き続き、田井小学校へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。  
(校長 伊藤芳文)



牛乳で乾杯！

## もうすぐ卒業式です

### 地域席

卒業式まで1週間を切りました。着々と卒業式に向けての準備が進んでいます。今回の卒業式の見所を紹介します。

【1】歌に門出の言葉にと、卒業生の名前が何度も何度も出てきます。

【2】卒業生の入退場と卒業証書授与の際のBGMは、ピアノの生伴奏です。



【3】昨年と同様に6年生の意向により、卒業式の最後は『みつば太鼓』で締めくくります。5年生も加わり、2名の卒業生がセンターに位置取ります。卒業生のソロを中心とした構成で、1人で1分にもおよびソロと2人であわせる部分は自分たちでリズムを創り出しました。

【4】『地域席』を設けます。今のところ14名ものの方々からお越しいただける予定です。

## 六年生を送る会（3月3日）

この一年間、最高学年として全校をリードし、お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える『6年生を送る会』が行われました。

5年生が企画・運営し、各学級が工夫を凝らした内容で、どの発表からも“ありがとう”という感謝の気持ちがよく伝わってくる出し物ばかりでした。

20名近くのお家の方々からもお越しいただきました。そして、プレゼント渡しではみんなで輪になり手をつないで、歌のプレゼントをしました。

会場のみんで互いに感謝の意を伝え合う、心温まる素晴らしい会となりました。



去年は計画する立場でしたが、今年は反対でその分、今までのぼくたちへの感謝の気持ちをいっぱい伝えてもらえて、本当にうれしかったです。

ぼくたちのためにいろんな出し物を披露してくれてうれしかったです。特に、プレゼントの歌の時はみんなが輪になって一生懸命歌ってくれていたのが、涙が出そうになりました。本当にありがとうございました。（二人の6年生より）



## おたすけレンジャー大活躍（3月11日）

1年生の時から幾度となく「自分たちにできることは」と地域のために、学校のために、人のためにと自主的に活動してきた2年生。この日は卒業式に向けて校舎をピカピカにしようと、朝から密かに活動していました。

正に「世に役立つことを喜びとする子」に育っています。

